



# とうふう 東風

矢巾町立矢巾東小学校  
校報 7号  
H27.7.3  
文責 校長 菅原

学び合おう  
礼節を重んじ  
姿勢よく

## 感謝感動 ① 中村久子先生の一生

正直、保護者の皆様からこんな素晴らしい感想文が寄せられるとは…。予想外だったと共に、私の不明さを恥じ入るばかりです。

中村先生の、余りにも現代の日常と違う世界の生き方に対して、私も含め今の子ども達も保護者の皆様も、その内容を受け止めさらには読後の思いを書きとめられるのだろうかという思いでございました。

しかしそれは、私の大きな思い違いでした。綴られた感想文を拝読しながら、皆様の感性の素晴らしさ、生き方の真摯さ、そして子どもを育てる親の気概がひしひしと感じられ、学校教育もかくありたしと自覚を促されました。

「1年生の子どもには難しかったかと思いつつも将来の糧のための先行投資として読み聞かせたお母さん。」「読み聞かせの途中で子どもが寝てしまっても、最後まで音読するお父さんの傍で目を真っ赤にして聞いているお母さん。」「今の自分の境遇と照らし合わせながら、今自分が頑張る姿を子どもに教えていきたいと決意するお母さん。」さらにまた、「運動会での娘の頑張りにつなげて『努力と忍耐と精神力は必ず人生に勝つ』ことを再確認したお父さん。」

などなど…。その中から、校報への掲載にご一任いただきました方の感想文について、号を追っていくつかご紹介申し上げます。

人生大学の学生として

まず、私自身、このような崇高な生き様を遂げた方の人生について簡単に感想を申し述べられるような人間ではありません。そのような中でも感じられることは、中村久子さんという方は、究極の「学び続けた」人であつたであろうということです。家庭に居ても、見世物小屋の仕事に居ても、社会活動に居ても…。生きること全てを学びとし、人生を極めていかれた方なのだろうと思います。中村先生のような極みまでは到底行くことはできませんが、思うことは、自分が進化できる「学び」の材料は、実は自分の周りに溢れているということです。思うようにならない子育ての中に、行き詰った仕事の中に、持病の中に、さまざまな人のお付き合いの中に…。まるで人生大学の学生のように首席で卒業することはできませんが、留年せず、一つでも単位を増やせるように生きていきたいものです。  
5年生のお母様より

娘に教えた「努力 忍耐 精神力」

恥ずかしながら、この本を頂くまで、中村久子さんの事は存じ上げませんでした。私と同じ女性がこのような壮絶な人生を送ったという事に強い衝撃を受けました。久子さん本人というよりはどうしても母の目線になってしまいます。我が子が四肢切断などという目を背けたくなる様な状況に陥ってしまったらと考えると胸が張り裂ける思いです。自分を責めて責めて、出来る事なら代わってやりたい、そう願うことでしょう。そう願いながらも我が子の将来を見据えて、あえて甘やかさず、厳しく接するなど自分に出来るだろうか、今の私には答えが出ません。しかし、久子さんの母は自分の心を殺し、ただただ久子さんのことだけを思い、はたから見れば冷酷な母に徹したのでしょう。そして、そのような母に育てられたからこそ、健常者以上に強い精神力をもち、力強く生き抜くことが出来たのでしょう。この本を読み、我が子が五体満足で生きている事が本当にありがたい、感謝すべき事なのだと思つくと同時に、ただ、なんとなく生きているだけでは本当の意味で生きているとは言えない、「努力、忍耐、精神力」が必ず人生に勝つと娘に教えていきたいと思つきました。  
6年生のお母様より